

30.12.6 福島県相双地域等の物流に関する協議会（第 1 回）

復興庁

物流に関する調査事業について（復興庁事業）

＜背景・経緯＞

平成 29 年秋 浜通りの地域の企業等あての荷物が届かない等の事例が発生
以降 復興庁（復興局）、内閣府支援チーム、相双機構等が、現地を中心とし
た各企業を訪問させていただき、事情・状況のお伺いを実施
平成 30 年 3 月 全日本トラック協会理事会にて復興庁・内閣府から協力要請
平成 30 年 4 月 福島県トラック協会各支部総会にて復興庁・内閣府から協力要請
以降 各企業を訪問し、事情・状況のお伺いを実施
復興庁・経産省で協議の上、物流に関する調査を行うこととし、復興
庁は物流企業を対象とした調査を、経産省は荷主企業を対象とした調査を、それぞ
れ行い、併せて、福島県相双地域等の物流に関する協議会を開催し、情報共有、対
応策（案）の検討等を行うことを確認

＜趣旨＞

「福島 12 市町村の将来像に関する有識者検討会」における提言に基づき、福島浜通り
地域等における物流課題への対応のため、「大手配送事業者」と「地元運送事業者」の連
携による解決に着目し、連携を実現するために必要な情報収集等を実施。（（株）富士通
総研に委託）

＜アンケート調査＞

以下の通り、「大手配送事業者」向けの調査と「地元配送事業者」向けの調査を実施

○大手配送事業者（17社）調査

大手特積・宅配事業者、食品・飲料など物流を担う大手貨物運送事業者、浜通り地域
の製造業の物流を担う大手貨物運送事業者に送付

○地元配送事業者（601社）調査

福島県トラック協会様の会員企業 848 社の約 7 割の企業に送付

＜「出会いの場」の開催＞

○平成 30 年 12 月 10 日（月）、於：福島県トラック協会白河の関トラックステーション

○復興庁・福島県トラック協会が共催

○福島浜通り地域の物流に関わる様々な悩みをお持ちの物流事業者様にお集まり頂き、物
流問題解決に向けたキッカケを作って頂く場として開催。プロフィール交換や意見交換
など

＜連携の可能性についての検討＞

上記のアンケート調査、「出会いの場」の開催等を通じて、連携をして頂ける可能性の
ある大手運送事業者様・地元運送事業者様に、どのような連携が可能か、個別にご相談・
ご提案を実施。